

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターより

# ひまわり



第28号 令和2年12月  
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター  
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)  
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

## 令和2年度第1回川薩地区在宅医療推進連絡協議会



新型コロナウイルス感染防止対策により開催が遅れていた、令和2年度第1回川薩地区在宅医療推進連絡協議会を、令和2年12月1日(火)川内看護専門学校会議室に於いて開催致しました。川内市医師会、薩摩郡医師会両センターの活動報告、高齢者施設および障害者施設における看取り等の調査結果報告、在宅医療提供状況調査結果報告、令和3年度活動計画、新型コロナウイルス感染防止対応に関する調査結果報告と多くの議題について協議を行って頂きました。また、在宅歯科医療推進室の活動報告、入退院調整ルールに関するアンケート結果の情報提供も頂きました。第2回の協議会の開催については、令和3年度の第1回会議が5月開催予定の為、行わないこととなりました。

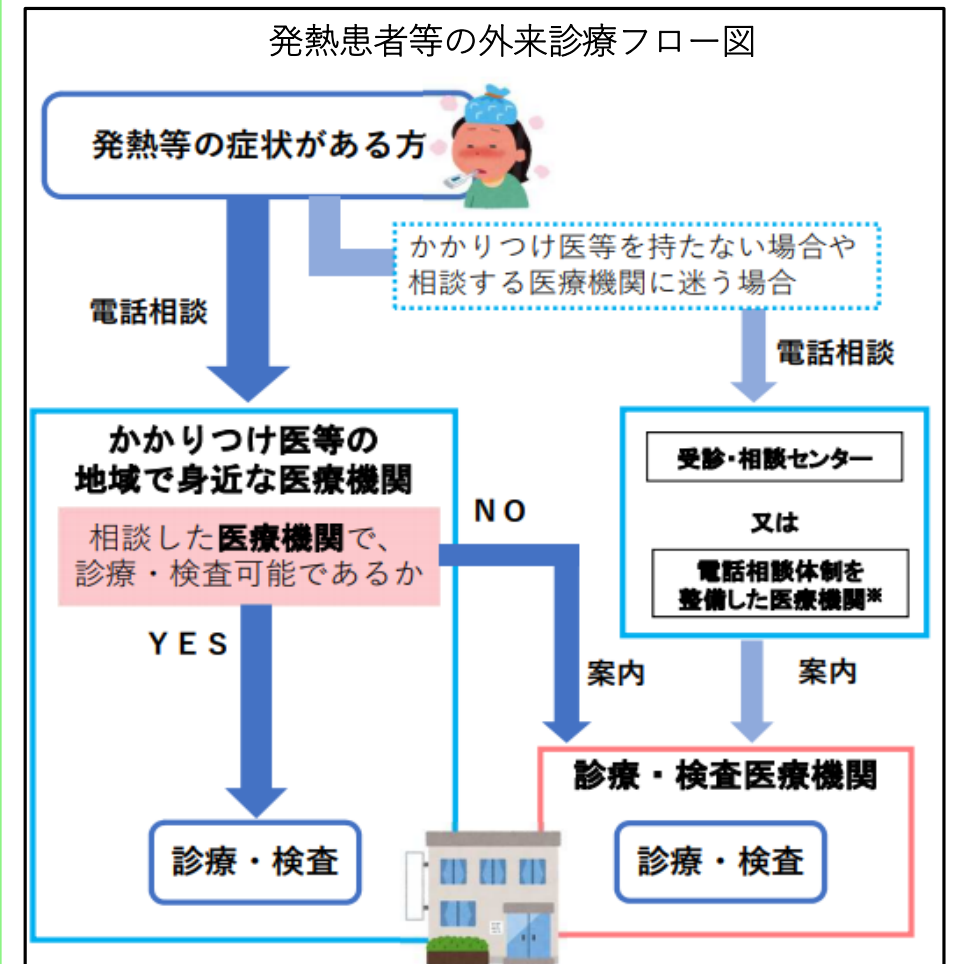
## 令和2年度第1回川薩地区在宅医療推進リーダー会議



令和2年10月2日(金)薩摩郡医師会病院会議室11名と川内看護専門学校会議室15名、オンライン参加2名の参加にて第1回川薩地区在宅医療推進リーダー会議を開催いたしました。議題は①看取り調査に関する調査結果報告、②事前に行った委員アンケート結果報告③コロナ禍における在宅医療の問題点について④在宅医療提供状況調査結果の報告でした。意見交換では「特養での看取りは増えてきているが、死亡者のうちの半分は医療機関での看取りとなっている」「入所時には事前指示書(意思確認書)で確認を行っているが、看取りの時期になると家族の考え方が変わってくることもある」などが出されました。看取り調査については2年毎に実施することとなりました。オンラインでの会議は音声聞き取りにくいなどが課題として残りました。今後改善していく予定です。

## 「発熱患者等の外来診療の流れ」

令和2年11月より、「診療・検査医療機関」制度が始まり、発熱患者等の外来診療の流れが変更となっております。発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医にまずはご相談ください。



「診療・検査医療機関」とは  
症状では、鑑別し難い、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の両方の診療又は検査が適切に行えるよう専用の診察室等を設けるなど※、受入体制を整備した医療機関(県指定)  
※ドライブスルー方式や、医療機関の敷地内でプレハブ・簡易テントを設置した上で診療を行う医療機関、診療時間のうち一部の時間帯を発熱患者専用の診療時間として設定する医療機関。

【受診・相談センターについて】  
◎かかりつけ医等がなく、相談する医療機関に迷う場合の相談先。

保健所名	電話番号	相談対応日時
川薩保健所	0996-23-3165	・平日:8時30分～17時15分

※「電話相談医療機関」等につきましては、鹿児島県ホームページの「新型コロナウイルス感染症に関する情報」をご参照ください。

## 甕島の医療機関を訪問しました



※診療所の写真はホームページ掲載分を使わせていただいております。

令和2年10月28日(水)薩摩川内市役所の担当職員にご案内頂き、甕島地域の4診療所を堀之内会長と共に訪問させて頂きました。下甕手打診療所、鹿島診療所、里診療所、上甕診療所の所長および事務長と面会し、診療における困り事等についてお聞きしました。その中で2ヶ所の診療所より「輸血の際、血液が届くまでに約2日間かかる為、急いでいるときは特に困る」とのお話がありました。また、心待ちにしていた甕大橋(本年8月29日開通)を渡ることができました。天候に恵まれ素晴らしい景観でした。この橋が開通したことで、上甕から下甕まで車で約1時間で行けるようになったそうです(但し、強風による通行規制があります)。訪問より約1か月後の11月末に、里診療所より祁答院町にある特養のショートステイを利用される方の訪問診療の依頼が、わかばクリニックにあったそうです。訪問により、顔の見える関係作りには少しではありますが、貢献できたのではないかと思います。日帰りでの訪問は駆け足でしたが、各診療所の先生方には温かく接して頂きました。ありがとうございました。

## 令和2年度第1回薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会



令和2年11月10日(火)薩摩郡医師会病院会議室にて、令和2年度第1回の薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会を委員24名の出席にて開催いたしました。新型コロナウイルス感染症対策でソーシャルディスタンスは十分には保てませんでしたが、換気を行い、手指消毒、マスク装着にて行いました。会議では、(1)令和2年度高齢者施設および障害者施設における看取り等の現状調査結果、(2)令和2年度在宅医療提供状況調査結果の報告を行った後、当地域における在宅医療や看取りの課題について意見交換を行いました。「グループホームにおける介護度が高くなってきている」「障害者施設の入所者の高齢化が進んでいるが、施設の規定として訪問看護や訪問診療の利用ができない」などのご意見が出されました。また、コロナ禍における在宅医療の問題点については、「県外の家族が連絡なしに帰省されていることがあり、一時的にサービスを中止せざるを得ない状況もある」他多数のご意見がありました。

### 《センターより》

新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年でした。皆様も大変ご苦労されていることと存じます。そのような中ではありますが、皆様のご協力によりなんとか年末を迎えることが出来ました。まだまだ、多くの課題があります。来年も引き続きご協力の程よろしく願いいたします。寒さが厳しくなってきました。お身体大切によいお年をお迎えください。